

# 千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

## 1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 ACOBA
所 在 地	千葉県我孫子市本町3-4-17
評価実施期間	令和7年10月1日～令和8年1月25日

## 2 受審事業者情報

### (1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	名都借みらい保育園 ナズカリミライホイクエン		
所 在 地	270-0145 千葉県流山市名都借289		
交通手段	電車：JR常磐線「南柏駅」より徒歩20分 車：国道6号線名都借交差点を入り、 東部福祉会館入口を右折 バス：流山グリーンバス（松ヶ丘・野々下ルート）＝JR常磐線「南柏駅」から 「東部診療所前」下車徒歩2分		
電 話	04-7170-1417	FAX	04-7170-1417
ホームページ	mirai.wakaba-gakuen.ed.jp/		
経 営 法 人	学校法人わかば学園		
開設年月日	平成24年4月1日		
併設しているサービス	一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業		

### (2) サービス内容

対象地域	流山市内						
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	9名	18名	20名	23名	25名	25名	120名
敷地面積	2732㎡			保育面積		282㎡	
保育内容	0歳児保育 ○		障害児保育		延長保育 ○		夜間保育
	休日保育		病後児保育		一時保育 ○		子育て支援 ○
健康管理	内科健診・歯科健診/年2回、尿検査（幼児）/年2回、身体測定/毎月						
食事	自園調理・完全給食（月～金）、アレルギー除去食提供、土曜日は離乳食のみ提供						
利用時間	月～金曜日 7:00～20:00、土曜日 7:00～19:00						
休 日	日曜日・祝日・年末年始（12/29～1/3）						
地域との交流	近隣小学校との交流 運動会への招待			市内小中学校の職場体験受け入れ ボランティア活動の受け入れ			
保護者会活動	保護者会なし						

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
		7	20	27
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	23	1	2	
	保健師	調理師	その他専門職員	
	0	1	0	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	流山市役所保育課または保育園に入所申込書提出 市役所は郵送可、保育園は予約が必要	
申請窓口開設時間	市役所保育課 8:30~17:15	
申請時注意事項	流山市の規定による	
サービス決定までの時間	流山市の規定による	
入所相談	園見学随時受付（電話予約）	
利用料金	入所案内参照	
食事料金	3・4・5歳児 給食費/月額〇〇円	
苦情対応	窓口設置	保育園 主任保育士
	第三者委員の設置	海老原正樹・白石多実子

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>理念 1.利用者第一主義 園児、保護者の立場、目線に基づく運営 2. 地域社会への貢献 教育、保育を通じての地域貢献 3. 人格形成の追求 幼児の人格形成および職員の人格形成の追求</p> <p>保育目標 ○健康でたくましい子 ○情操豊かな明るい子 ○社会性に満ちた正しい子</p> <p>保育のねらい 1. 健康、安全など基本的な生活習慣を身につけること 2. 人との関わりの中で愛情・信頼・自主・協調が育つ 3. 様々な事象について興味や関心が育つこと</p>
<p>特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20時までの延長保育</li> <li>・食育</li> <li>・英語リトミック体操指導</li> <li>・一時預かり事業</li> <li>・地域子育て支援拠点事業</li> <li>・イベントや相談会の開催</li> </ul>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・STEAM保育を取り入れ、科学、技術、工学、アート、数学の5つの分野を通して、創造力と問題解決能力を身につけていくことを目指しています。</li> <li>・自然豊かな環境の中、広々とした園庭では子ども達が季節を感じながらのびのびと遊びを楽しみ健康な体づくりと情緒豊かな心を育てていきます。</li> <li>・中庭が吹き抜けになっており室内にいながら季節を感じ取ることができ夏はプール遊びを楽しみます。</li> <li>・園庭の畑で幼児は色々な種類の野菜を育て、収穫し給食で食したり、管理栄養士の下年齢に応じたクッキングを行い「食育」にも力を入れています。</li> <li>・給食・おやつは全て手作りで、アレルギーの除去食も提供します。</li> <li>・幼児クラスから年齢に応じたワークを取り入れたり、外部講師を招いて、英語、リトミック、体操教室を取り入れています。</li> <li>・英語では慣れ親しむことを目的とし、小学校入学後スムーズになじめるように考えます。</li> <li>・リトミックでは集中力や聞き分ける力を学び、音と体の一体感を楽しみ、友達とのコミュニケーションや協調性を養います。</li> <li>・体操教室では様々な運動を通して体力作りを行います。</li> <li>・5歳児は就学に備え、文字の練習や鍵盤ハーモニカの指導も行います。</li> </ul>

## 福祉サービス第三者評価総合コメント

### 特に力を入れて取り組んでいること

#### 1. 未来を見据えた健康づくりとSTEAM教育及び発達年齢をとらえた各種教育への取り組み

保育目標の第一が「健康でたくましい子」である。マラソン大会や縄跳び大会を実施、体力づくりと発達段階をとらえた健康づくりに取り組んでいる。これらは、歩くことが少なくなってきた子ども達の将来を考えた身体づくりに相応しい。

園の特色である「STEAM (Science・Technology・Engineering・Arts・Mathematics) 教育」は、AI時代の世界で生きていく能力を身につけた人材を育成しようとするもので、園は推進によって、楽しみながら自ら課題を発見し解決方法を考えて実践していくという基礎を作ろうと力を入れている。また、英語教育による発音や聴力の育成、リトミックによる音感教育にも前向きな姿勢である。単なる“先取り保育”とならないよう注意し、子どもの何を育てたいのかを常に共有し振り返りながら正しく推進していくならば、未来を見据えた身心の健全育成への取り組みとして期待できる。

#### 2. 充実したセルフチェックの仕組みの構築

当園は各種の分野にチェックシートを用意し、点検と確認とによって「利用者第一主義」という理念の実現にむけた保育の質の向上を図ろうと努力している。

①人的な能力や業務の実践については「人事考課表」があり年2回実施している。加えて「自己点検」「自己評価」が行われ、職員は自身の職務について振り返っている。保育者が自身のスキルを自覚し課題を見つけることができるきっかけになっていると思われる。不適切な保育についても当園オリジナルのセルフチェックが行われている。

②施設の設備や遊具などについては「安全点検」を毎週複数職員でチェックを行い、大型遊具は安全点検を業者に依頼して実施している。

#### 3. 実戦的な災害訓練の取り組みときめ細かな安全対策

当園の災害訓練は地震ほかの災害を想定してきめ細かく行われていて、いざという時のための訓練が実行されている。防災の日に合わせて給食を災害時メニュー（おにぎり・インスタントみそ汁・缶詰など）にして、非常時の給食を食べることによって災害時の疑似体験を行っている。また、「芋煮会」では、職員が七輪を利用する。給食担当や保育者が火起こし体験や煮炊き出しの練習を行うなど工夫されている。電気に頼らない七輪やガスボンベ式発電機の用意する着眼点は称賛に値する。

保育安全計画では、緊急連絡先の確認や消防機器点検・避難場所や災害備品の確認などきめ細かな安全対策を講じている。

## さらに取り組みが望まれるところ

### 1. 園舎構造を生かした保育

保育室は「回廊」と呼ばれている廊下（広場）によってつながる構造で、どの保育室からも行きたい場所へ移動することができる。この広場空間には屋根がないので風雨による影響を直に感じることができる。園児は、下足に履き替えることなく広い空間を楽しめ、風を感じ雨を体験できる。このユニークとも言える構造の特徴を今一步保育に生かしてみたいかだろうか。

シンボルとなる樹木を中心に季節感を感じる植物の整備、風を感じる風車や風鈴・降雨による貯水設備や水車の設置等々をこどもと職員で取り組んでみても面白い。こども達の感性を育むような工夫をSTEAM教育の中で考え保育に生かしていくことを提案したい。

### 2. バランス良い職員構成とより良い勤務環境の整備

当園の職員構成をみると常勤職員が非常に少なく、多くの非常勤職員とで園が運営されている。保育運営の職員配置に問題があるわけではないものの、どうしても役割の責任からくる業務負担は常勤職員が負うことになる状態である。それが理由かどうかは不明ながら、常勤職員の年次有給休暇の取得率は低いとすることができる。非常勤職員が担いきれない部分を常勤職員が受け持つのではなく、常勤職員の業務を補うのが非常勤職員である。常勤職が魅力的でより保育業務に生きがいをもてるような保育園を目指し、常勤職の積極的な採用と特に休暇取得にむけた一層細かな休暇管理に期待する。

### (受審事業者のコメント)

・今回、評価機関の評価を受け、⑦法人の理念に基づいた「求める職員像」を定義し人事方針を策定し、組織的、計画的な人事運用の徹底、勤や経験に頼るのではなく、中長期的な人事配置、育成計画を策定し、組織的に人事管理を行っていかうと考えます。

・自己評価と園長評価を組み合わせた多角的な評価とフィードバック面談の定例化にも取り組みます。

・変化の激しい社会を生き抜く子ども達を育む為に職員1人1人が専門性と創造性を絶えず、アップデートし続ける組織を目指します。その為、STEAM保育研修を行い職員自身の「観察眼」や「環境構成の力」を高めていかうと考えます。

・身近な自然や地域社会とのかかわりを単なる「お出かけ」で終わらずに、「ワクワク探検」や「街の探検隊」と言った名目で保育園の外にまだ誰も知らない宝物が沢山あるから、探しに行こう！と視点を変えて触れ合える仕組みを作っていく工夫を盛り込んでいく。など今回の評価を受け、すぐに対応できる部分は早速改善していきたいと思ひます。第三者に評価されることで、気付かされたことも多く、また新年度に向けて、新たな気持ちで取り組んでいきたいと思ひます。ありがとうございました。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目			
				☑実施数	☐未実施数	☒非該当	
I 福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4			
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3			
	2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	5	2		
	3 管理者の責任とリーダーシップ	管理者のリーダーシップ	4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4			
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3			
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	6	1		
			7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	3	2		
			8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	1	3		
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	2	3		
	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3			
			11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	2	2		
			利用者満足度の向上	12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4		
	2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3			
			提供する保育の標準化	15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4		
	3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2			
			17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4			
	4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	3	1		
			19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5			
			項目別実施サービスの質	20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6		
				21 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5		
				22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5		
				23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5		
				24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	3	1	
				25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6		
				26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	6		
				27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	3	1	
				28 家庭との連携が十分図られている。	3		
				29 地域社会との連携が十分図られている。	3		
			30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	3			
			子どもの健康支援	31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3		
	32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4					
	33 食育の推進に努めている。	5					
	5 安全管理	環境と衛生	34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3			
		事故対策	35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4			
		災害対策	36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6			
	6 地域	地域子育て支援	37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5			
	計				143	16	0
				☑実施数	☐未実施数	☒非該当	

さらに取り組みが望まれるところ

第三者評価受審用自己評価項目（こども園 保育園 小規模保育）

（利用者はこども・保護者と読み替えて下さい）

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。 非該当

評価項目		標準項目	
1	理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>（評価コメント）</p> <p>理念と基本方針は、園のリーフレット・入園のしおりやホームページに記載している。事務所内には掲示して、職員の目に触れる機会を作っている。研修においては、理念と基本方針をもとに保育実践を振り返ることによって認識を深め、職員が保育にあたって理念と基本方針とを一層意識するよう努めている。</p>			
2	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>（評価コメント）</p> <p>入園時には理念と基本方針を記載した「入園のしおり」をもとに説明し、保護者に周知すると共に園の進める保育への理解が深まるようにしている。園で進める保育について保護者に話す機会には、保育実践が理念と基本方針に沿って行われていることを念頭に伝えるようにしている。</p>			
3	事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input type="checkbox"/>	中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
		<input type="checkbox"/>	事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	運営の透明性の確保に取り組んでいる。
		<input checked="" type="checkbox"/>	各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
<p>（評価コメント）</p> <p>運営法人は隣接する2県において当園をはじめ計5つの教育・保育施設を運営し、学園本部を置いている。保育に関する各種の計画は確認できたが、運営全体に関する事業計画は確認できなかった。法人は、毎月「園長会」、2か月に1回「主任会」を行い情報共有等を行っていて、運営に関する問題点などについて話し合う仕組みと透明性の確保はできている。園では毎月の「職員会議（定例会）」を開き、職員への周知を図り幹部職員と職員とが話し合う仕組みはある。</p>			
4	理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>（評価コメント）</p> <p>職員会議（定例会）を毎月行い、クラスの状況報告や今後の保育のあり方や課題について意見交換をしている。接遇・災害安全・保健衛生・給食などの分野に整理したテーマをもって定期的に内部研修を行っているほか、職員が参加した外部研修の報告や研修記録の回覧によって職員の保育の質を高めるように育成している。人事考課を年2回行っているが、その際に園長は職員と面談し職員の状態を把握し必要な指導を行っている。</p>			
5	全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/>	遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>（評価コメント）</p> <p>法令に関連した各種の文書が網羅された「職員ハンドブック」（ファイル集）を職員に配付している。ハンドブックを活用して、法令遵守と職業倫理・プライバシー保護などについて年度初めや入職の際に全職員を対象に研修を行い周知を図っている。365項目に渡る自己評価項目があり、12分割して毎月チェックを職員は実施している。</p>			
6	事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
		<input type="checkbox"/>	把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
<p>（評価コメント）</p> <p>アプリによって園児の出欠管理などの効率化を図るためICT化を進めたり、パート保育士をそろえて保育業務に支障をきたさないように取り組んでいる。保育日誌の簡素化も行った。年間5日以上の有給休暇取得が必ずできるように計画年休を実施して管理している。しかし、幹部職員の有給取得率は低い実態がある。就業関係について日々の会話や個人面談で職員の意見などを把握するよう努めているが、具体的な「改善計画」は立てていない。職員は私学職員共済組合により総合的な福利厚生サービスを受けられるほか、園では職員の給食費や保育着購入に助成を行っている。</p>			

評価項目		標準項目	
7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に 行い、職員評価が客観的な基準に基づいて 行われている。	<input type="checkbox"/>	人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。
		<input type="checkbox"/>	職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント)			
職員の評価については、かなり充実した制度を法人が整備し制度を確立している。職員評価については、役職者と一般職毎に能力と成果に区分された人事考課表をもとに点数化されていて年2回実施している。更に「自己点検・自己評価」も実施しその後の全職員の個別面談も行われている。職務分掌を作って職務の役割は明確化されているが、人材に関する方針と計画及び職務の権限についての規程は確認できなかった。			
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的 な計画が確立し、取組が実施されている。	<input type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
		<input type="checkbox"/>	福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。
		<input type="checkbox"/>	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント)			
職員の配置については、短時間勤務の“準職員”を多数確保し満たしている努力は認められる。しかし、人材の確保と定着に関する方針のもと、具体的な計画は確認できず、人材の確保と育成が計画に基づいたものとは言い難い。一方で、法人は保育関係資格の取得に助成制度を設けたりして、有資格者を確保しようとする姿勢は認められる。			
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、 研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	中長期の人材育成計画がある。
		<input type="checkbox"/>	職種別、役割別に能力基準を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別育成計画・目標を明確にしている。
<input type="checkbox"/>	OJTの仕組みを明確にしている。		
(評価コメント)			
中長期の人材育成計画の策定と職種別・役割別の能力基準の明示は確認できなかった。職員の研修については、内部研修も外部研修も行われ、一般的な保育関連研修のみなく、時宜に応じたテーマも取り上げている。キャリアアップ研修を全職員が受講するようになり、人事考課や自己点検など職員が個別に必要な要素を明らかにする仕組みがあり、人材育成に活用できるようになっている。OJTの仕組みは明確ではない。			
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を 行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重 している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの尊重や基本的な人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	日常の援助では、個人の意思を尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント)			
こどもの権利擁護については、「子どもの立場に立ったセルフチェックリスト」「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を用いて、職員は自身の保育について振り返りを行っている。リストは、日常の保育の中でこどもの意思を尊重する姿勢や具体的な行動について細かく言及している。さらに「不適切保育マニュアル」を用いて職員研修を毎年実施し組織的に対応している。			
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を 図っている。	<input type="checkbox"/>	個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の利用目的を明示している。
		<input type="checkbox"/>	利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント)			
個人情報の利用目的を明示して保護者から使用の同意をとっているものの、保護方針や取り扱い規程類などを配付書面やホームページに掲載はできていない。園の保持する個人情報の開示に関する文書も確認できなかった。保育園での写真掲載やその取り扱いについては配慮していて、職員ハンドブックに記載して職員に周知し取り扱いに注意を払っている。			
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整 備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント)			
保護者アンケートを実施していて、結果の公表や質問や要望について丁寧に回答している。当該アンケートは年2回行われていて理念として掲げる「利用者第一主義」に沿った取り組みとすることができ、当園の姿勢と熱い思いを反映している。個人面談も行い保護者から直接的に運営面や保育について聞き取る仕組みがあり実施している。			
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント)			
「入園のしおり」と「重要事項説明書」に苦情処理を掲載し、苦情対応窓口や責任者・第三者委員を明記している。ホームページ掲載や園内に連絡先等を開示したポスターを2カ所に掲示、玄関には意見箱を設置する等々積極的に苦情や意見を受け付け対応しようとしている。苦情を受けたときは記録し職員に周知すると共に、園長が申し出人に説明して納得を得るようにしている。第三者委員にも必要に応じた相談や報告をしている。			

評価項目		標準項目	
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
園の教育・保育を総合的に評価するため施設の自己評価として「自己点検・自己評価」実施し、次の保育計画に生かすようにしている。職員は「自己評価」を毎月実施し30～40項目のチェックをしているほか、人事考課として行われている「人事考課表」による評価もあり、これらを保育の質の向上に役立てている。行事等についても、計画・実行・振り返りを行い次の実践に繋げている。園の自己評価の結果はホームページに公表しているし、今回の第三者評価も公表予定である。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的の実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の手参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
当園には「職員ハンドブック」というファイルを職員に配付しているが、職員としての心得やマニュアル類が整備されている。様々な日常業務についてのマニュアルもあって、業務分担や手順を記載してあり活用している。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント)			
園見学や問い合わせは園長が対応し、見学は電話予約の上、利用者の希望日に添うようにしている。「園の案内」やパンフレット、ホームページやインスタグラムについても伝えて、保育方針や年齢に応じた保育の内容等利用者のニーズに応じた説明をしている。特に3歳児から取り入れている食育活動やブックワーク、リトミック・英語・STEAM教育についても内容や導入した根拠を丁寧に説明している。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント)			
入園時に保育方針や基本的なルールを説明するのはもとより、年度始めには保護者会を開き、園長が重要事項や事業計画を説明する。その後も園内掲示によって補足もしている。「重要事項説明書」の内容については、同意の署名捺印を得るようにしている。その後のクラス懇談会でも保護者の意向を受け止めるようにしている。			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント)			
理念や教育及び保育方針・目標に基づいて全体的な計画は立てられている。計画は理念などのほか、発達過程も組み込まれている。計画については、入園時の家庭調査票によって家庭や地域の背景を把握した上で行う。全体的な計画は園長の責任下で作成しているが、全職員の参画と協力体制下のもので作成されているとまでは言えない。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント)			
全体的な計画に基づいて長期・短期指導計画が立てられている。0・1・2歳児と特別な配慮が必要な園児には個別計画が作成されている。退園児に特別な配慮が必要なこどもがいた。様々な配慮が必要であり、児童票に気になる行動や特別な行動を記録、個別計画を立て市と連携して対策を講じていた。しかし、保護者の希望で退園した。その結果、退園児に配慮して変更していた園行事や保育を見直すことになった。年度末には次年度指導計画が変更作成される。			
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容及び方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。		
(評価コメント)			
園が取り入れているSTEAM教育やリトミック・英語保育や設定保育以外の時間は、園庭あそびや室内あそびが自由にできるように年齢に応じた玩具が用意され、それぞれに自己選択をしながらあそぶ環境がある。パズルなど個人で集中あそびができる玩具は取り出しやすく、また、片づけやすい工夫もされている。一方、グループで遊ぶブロックや大型積み木なども用意されていて、友だちと協力しながら遊べる環境が整っている。			

評価項目		標準項目	
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
乳児保育は、食事や睡眠などが適切にとれるような保育室環境を用意している。こどものやってみようという気持ちを引き出しながら、生活習慣を身に付けていけるよう保育者は言葉かけを大切にしている。五感あそびは乳児にとって脳の発達を促す大切なあそびであり、歌あそびや語りかけや絵本の読みかきかせを通して発話を促し、感受性をうながす保育を行っている。保護者には連絡帳や送迎時の会話で連携をとって、保護者と共に成長を喜びあったり、相談に応じるなどの子育て支援を行っている。こども達の生育歴や発達過程については、個人記録簿で共有化している。			
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
1・2歳児については、生活習慣が身につくように自主的に繰り返し行えるような設定や声かけを大切にしている。同時に友だちの気持ちを考えたり、気づくようにしている。年間計画も立て、発達に即した育ちを行っている。保護者とは送迎時の声かけや連絡帳を通じて連携を保ち、時に保護者から悩みの相談を受けたり、成長の過程を情報交換している。個人記録で職員間で生育歴と発達過程を共有している。			
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
3歳以上児は生活習慣も身に付いてくる。それを自分でできたと達成感を体得したり、他児と協力や相手の気持ちを考えることを当番活動などを通して味わえるように配慮している。マラソンや縄跳び大会では挑戦する気持ちを養うような環境づくりをしている。また、ブックワークやリトミック・英語教育・STEAM保育を取り入れ、発達段階に応じた教育を行っている。幼児期には音感年齢があり、その時機を逃さずに育んでいる。保護者とは送迎時や連絡帳を通じて子育て支援を行い、職員間では定例会議でこども達の発達を共有している。個性的な発達がみられる園児については、特にファイルを作成・記録し共有している。			
24	身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
(評価コメント)			
各保育室は中央の広場的なオープンスペースを囲む構造で、中央にはシンボルツリー的に銀杏の木が植えられている。日々の天候や季節をより身近に感じられる。園内の畑で野菜(さつまいも・じゃがいも)やイチゴなどを育て、収穫の喜びを体験し給食で食している。散歩では近隣の樹木の変化を感じ、地域の人達と挨拶を交している。小学校との交流も行っている。			
25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
<input checked="" type="checkbox"/>	異年齢のこどもの交流が行われている。		
(評価コメント)			
こどもの円滑なコミュニケーションの育成に向け、けんか等の場面では双方の主張を伝え合い、原因を考察する機会を設けることで、こども同士が納得のいく解決に至るよう支援している。また、当番活動や共同あそびを通じて、他者のために行動する経験や協働の喜びを積み重ね、社会的ルールの習得を図っている。さらに、園庭あそびや長時間保育において異年齢で過ごす環境を整え、年下児への思いやりや年上児への憧れが育まれるよう配慮している。			
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関わりに対して配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。		
(評価コメント)			
個別指導の必要なこどもには指導計画や必要なサポートを個別ファイルに記録し職員間で共有し、日常の保育に役立てている。必要に応じて医療機関に相談したり市の巡回訪問を利用して助言をもらっている。保護者にも市の療育相談を案内することもしている。園内にスノーズレン療法に沿ったような室内環境を設けて、配慮の必要なこどもへの対応を試みた取り組みもしている。			

評価項目		標準項目	
27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。
		<input type="checkbox"/>	担当職員の研修が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	年齢の異なるこどもが一緒に過ごすことに配慮している。
(評価コメント)			
担当職員が交替する時、保護者からの伝言は直接担任に引き継がれる。遅い時間においては、担当職員交替の場合はメモと口頭で行っている。長時間保育のこどもは異年齢児による保育となるため、あそびの種類や異年齢ゆへの配慮をして、こども達が安心して過ごせる環境づくりをしている。担当職員への研修は特に行われていない。			
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
(評価コメント)			
日々の送迎時や連絡帳によってこどもの情報はやりとりされている。担任とは年2回の個別懇談を実施していて、保護者と家庭の様子や園での様子について交換するほか相談や要望も聞いている。その他、保育参観と懇談会も開催していて、家庭との連携が図られている。保護者からの相談や懇談会での内容は記録されていて、内容によっては園長に報告されて対応している。外国籍家庭やひとり親家庭などには個別対応をしている。			
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。(小規模事業所は該当せず 非該当図)
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。(小規模事業所は該当せず 図)
(評価コメント)			
小中学校の体験学習や実習を受け入れている。就学に向けての小学校訪問をしているが、小学生と交流し遊んだりする機会を利用して学校施設に馴染むようにしている。認定こども園園児指導要録はそれぞれの進学先に郵送している。			
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント)			
登園時の視診で虐待がないかどうかを観察している。疑われるような時には保護者に口頭で聞き取り、園長に報告をする。必要であれば市役所や関係機関と連携をして対処する体制を整えている。保育者は、家庭での不適切な養育に関する通報義務について市の研修も受けている。			
31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント)			
保健計画を作成し、毎月のねらいや実践での配慮・留意点が明記されている。毎月の身体測定、嘱託医による内科健診と歯科健診も定期的に行われている。3歳以上児には尿検査が年2回行われている。登園時の保護者からの情報や連絡帳での健康把握と保育中のこまめな視診を行っている。予防接種の記録は、健康記録表に記載されている。SIDS予防のチェックは、0歳児は5分、1歳児は10分毎に行い、午睡時間も記録されている。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)			
感染症マニュアルや安全衛生対策マニュアルは職員間で周知されている。感染症に係る業務継続計画は策定され見直しもできている。また、感染症の発生時は玄関ボードへ記録掲示すると共に、メールでも保護者へ発信している。保育中にこどもに感染症の疑いがあった場合は別室対応をする。保健所からの感染情報などを掲示し、近隣の発生情報を伝えるなど必要に応じて保護者への発信も行っている。			

評価項目		標準項目	
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人一人の子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のある子どもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)			
食育計画も作成され、畑で育てた枝豆を茹で、トウモロコシの皮むきなどの食育活動を行う。アレルギー児は入園時に医師の意見書を提出してもらう。アレルギー児の保護者は担任と栄養士とで面談を行う。誤食を避けるために、テーブルやダスターを分けて、提供食にはラップし食べる直前にラップを取るなど誤食防止対策をしている。給食時間に管理栄養士がクラスに入り、子ども達と会話をしながら食への関心を高めている。			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子ども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、子どもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント)			
保育室に温度計・湿度計・暑さ指数計を設置して、室内の適正環境を管理している。乾燥時期には、加湿器や霧吹きなどを使用して、湿度を保っている。子ども達には外部の人材を招いて手洗い指導を実施したり、職員に看護師がブラックライトを使用した手洗いのチェックを実施したりしている。「身の回りきれい教室」と銘打った活動を展開して、衛生管理の徹底した維持向上に向けて努めている。			
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント)			
事故発生対応マニュアルを整備、事故発生時には事故報告書を作成し、原因究明と分析をして再発防止に努めている。なお、事故報告書には時系列での記入と事故発生時の子どもや職員の配置などを記入する欄があると、より良い報告書になる。毎週「安全点検」を主任と担当職員とでチェックを行い、大型遊具は業者に安全点検を依頼をしている。不審者対策を避難訓練に組み込んで実施、日常はインターフォンでの対応と施錠で不審者侵入を防止している。各保育室にも防犯ブザーと笛を常備している。			
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。		
(評価コメント)			
業務継続計画(BCG)を作成し、災害緊急事態を想定して、近隣小学校を避難場所に想定している。非常用備蓄リストを事務室に掲示して管理も徹底している。毎月の避難訓練では、防火訓練の外、不審者侵入、水害、引き渡し訓練を実施。防災の日には、屋外での煮炊きや発電機や非常用トイレ体験や当日の給食は非常食を食べ、降園時には引き渡し訓練をしている。また、利用者の安否確認や職員の安否確認マニュアルを作成し、職員の緊急連絡網訓練も実施している。			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
園庭開放と子育て相談を行っていて、予約はホームページからできるようにしている。また、一時保育や就業・緊急時・リフレッシュ保育など、様々な形で子育て支援を行い、その際には子育て相談や助言を行っているほか、地域の子育て支援情報を提供をしている。小学校との交流にとどまらずに、地域の様々な活動グループなどと連携した子育て支援が展開されると当園の存在の意義がより深まるので今後に期待したい。			

特定非営利活動法人 **ACOBA**

〒270-1151 千葉県我孫子市本町 3-4-17 ABIKOs 2F

TEL:04-7181-9700 FAX:04-7185-2241

E-mail:acoba-fuku@key.ocn.ne.jp